CVコンバム取扱説明書
●オールテフロンタイプ用●

この度は、オールテフロン製CVコンバムをお買上げいただき有難うございました。
今後とも何卒よろしくご愛顧の程お願い申し上げます。

ご使用前に説明書を必ずご一読下さい。
又、本書は大切に保管して下さい。

⚠警告

❶吸着されたワーク（吸着対象物）が落下することにより危険と考えられる場合には、安全の為に必ず機械的な落下防止を設けて下さい。

⚠注意

■配管注意事項

①コンバム1個に、バキュームパッド2個以上を接続する場合

〇バキュームパッド1個に空気漏れがあれば、真空度が低下し、吸着ミスの原因となります。

〇真空配管において、コンバムと分岐箇所間の配管は、分岐箇所とバキュームパッド間の配管よりも太くして下さい。

②本体及び供給ノズルソケットは、テフロン樹脂で出来ており、ネジ部を強く締め込むと変形により性能が低下する場合があります。

■設備注意事項

①コンバムの使用温度範囲は0℃～60℃ですので、これ以外の温度条件では使用しないで下さい。（凍結している場合は作動不良となることがあります）

②圧縮空気中には多量のドレン（水・酸化オイル・タール・異物）が含まれています。これらはコンバムの性能を著しく低下させる要因となります。アフタークーラ・ドライヤによる除湿、タール除去フィルタによるタール除去等により、エア質の向上を行って下さい。又、ルブリケータ（給油器）は使用しないで下さい。

③配管内のサビ等は作動不良の原因となります。コンバムのエア供給側の直前には5μm以下の空気圧フィルタを入れて下さい。

④水分及び油分・塩分・金属片等は性能低下の原因となりますので吸い込ませないで下さい。

■保守注意事項

①分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。

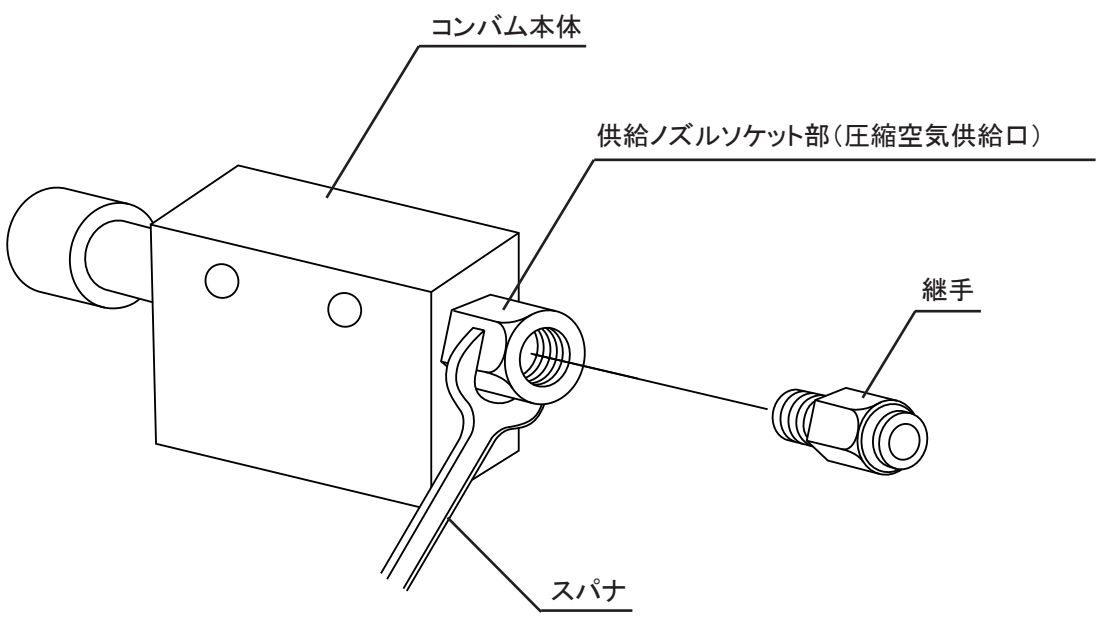
②分解や組立は、専門の知識を有する人が行って下さい。

③分解・組立時部品を紛失しない様にして下さい。性能が保証されません。

④真空側配管が1.5m以上ある場合は、真空発生時間及び真空破壊時間を多めにとって下さい。

■付属部品なし

■供給ノズルソケット取扱説明書



⚠注意

●供給ノズルソケット部をスパナで固定し、継手を取付けて下さい。（図参照）

●コンバム本体を固定し、継手を取付けると、供給ノズルソケット部がコンバム本体へ入り込み、変形し真空性能低下となります。

■使用説明（◎機能、〇注意事項）

サイレンサ（消音器）
◎コンバムより排気されるエアの音を低減させます。
〇オイルミスト・ゴミ等により、真空低下の原因となるので、点検・掃除・交換等の日常の保守点検を行って下さい。

コンバムフィルタ
◎パッドから吸い込まれたゴミ等がコンバム内部に侵入するのを防ぎます。
〇コンバムフィルタは、条件によりVF-2,VF-3,VF-5,VF-6を選択して下さい。
〇油水分等の流体及び不純物が通過することによりフィルタの目詰まり原因となるので、フィルタの点検・掃除・交換等の日常の保守点検を行って下さい。

真空側配管
〇真空側ホース内径
CV-10…φ4以上　CV-15 …φ6以上
CV-20 … φ7.5以上　CV-25 …φ9以上
CV-30…φ11.5以上
（配管長さが2m以上になる場合は、ホース径の一回り太いものを使用して下さい）
〇エルボ継手はできる限り避けて下さい。
〇配管内径・継手内径が指示径より細いと圧力低下や流量不足となり、真空性能が低下し吸着不能となるので注意して下さい。

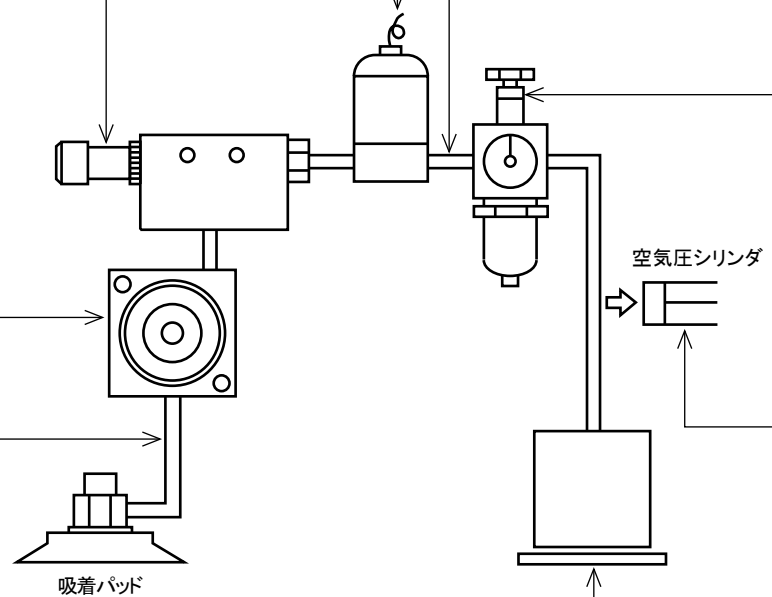
電磁弁
◎真空発生を制御する電磁弁（通常3ポート弁を使用し、真空発生・停止を切換えます）
〇コンバムの使用圧力、使用流量が充分確保できること（有効断面積に要注意）

供給側配管
〇供給側ホース内径
CV-10…φ4以上　CV-15 …φ5以上
CV-20 … φ6.5以上　CV-25 …φ8以上
CV-30…φ8以上
（配管長さが2m以上になる場合は、ホース内径の一回り太いものを使用して下さい）
〇配管内径・継手内径が指示径より細いと圧力低下や流量不足となり真空性能が低下し作動不良の原因となるので注意して下さい。

フィルタレギュレータ
〇コンバムの使用圧力、使用流量が確保できること。
〇使用圧力（0.35／0.5MPa）は、コンバムが真空発生している時のコンバムのエア供給口部での圧力であり、圧力降下を考慮した圧力に設定して下さい。
〇フィルタのドレン抜きは適時実施して下さい。（特に湿度が高い時は早めに実施して下さい）
〇ルブリケータ（給油器）は使用しないで下さい。

他の空気圧機器へ
〇空気圧アクチュエータ（空気圧シリンダ等）への配管とコンバムへの配管は、できる限り元管（コンプレッサ）の近くで分岐して下さい。（コンバムへの供給圧力・流量が低下し、真空性能が充分得られない事があります）

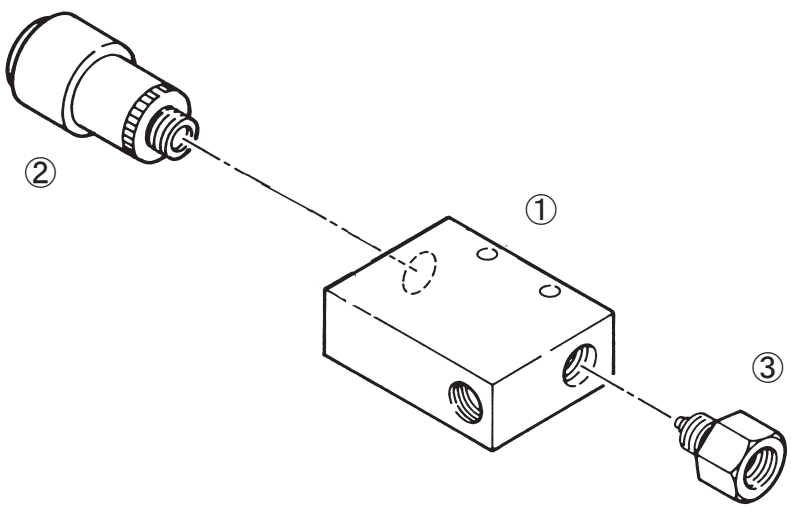
コンプレッサ（空気圧縮機）
〇コンバムが真空発生している間は、常時エアを消費しているので、コンプレッサの能力は他のアクチュエータ等を含めて充分能力に余裕があることを確認して下さい。



⚠注意
＊供給側及び真空側の配管は、エア漏れ等のないように確実に行うこと。
＊電磁弁は仕様にあった配線をすること。
＊仕様、外形についてはカタログを参照のこと。

■分解図

●各部名称	
①	CVコンバム本体
②	サイレンサ
③	供給ノズルソケット



⚠注意
＊分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。
＊分解や組立は、専門の知識を有する人が行って下さい。
＊分解・組立時部品を紛失しない様にして下さい。性能が保証されません。

株式会社 妙徳
ホームページ　http://www.convum.co.jp
E－mail　faq@convum.co.jp

カスタマーサポートセンター
お気軽にお問い合わせください。
0120-340095　0120-498586　0120-415641